



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



MCN REPORT

2022.9 vol.52



看護学部の新カリキュラムがスタートしました

contents

看護学部で 2022 年新カリキュラムがスタート	1・2
TOPICS	3
地域交流センターの取り組み	4
大学の出来事	5
連携協力協定機関紹介（三重病院）	6

地域包括ケア時代に活躍する看護職を育む

本学では、卒業時に全員が看護師と保健師の2つの国家試験受験資格を取得できるカリキュラムを提供し、地域包括ケア時代に対応できる幅広い視野を持った看護職の育成をめざしてきました。令和4年度入学生から適用される新カリキュラムにおいてもその方針を継続するとともに、フィールドワークや異学年交流などを取り入れた科目を新たに設置し、地域への理解を深め、多職種と協働する力を育みます。

1年生

豊かな人間性と幅広い教養を育む教養・基礎科目や、基本的な看護学の理論、方法論を学びます。新設科目「三重を知ろうⅠ」では、県内でのフィールドワークや初めての病院実習をとおして、地域や医療現場への理解を深めます。

- コミュニケーション論
- 健康科学
- 形態機能学Ⅰ～Ⅳ
- 看護学原論Ⅰ～Ⅱ
- 基礎看護技術Ⅰ～Ⅲ
- 三重を知ろうⅠ
- 総合課題探求Ⅰ など

入学

2年生

「実践基盤看護学」「生涯看護学」「広域看護学」で構成される看護学の専門科目を履修し、看護を実践するための知識と技術を身につけていきます。新設科目「三重を知ろうⅡ」では、三重県の各地域でフィールドワークを行い、人々の営みや多様な生活の場を理解するための知識、技術を主体的な学習により修得します。

- 臨床薬理学
- 臨床病態学Ⅱ～Ⅵ
- 各看護領域の概論・方法
- 基礎看護学実習
- 市民活動論 など

3年生

多様な看護領域の臨地実習を行い、それまでに学んだ知識を実践・評価によって確実に自分のものにしていきます。また、本学では選択により助産師課程科目を履修した者は、助産師の国家試験受験資格を取得することができます。3年生の後期には、助産学の専門知識を修得する「助産論Ⅱ」を学びます。

- 医療情報学
- 看護倫理学
- 各看護領域の方法
- 各看護領域の実習
- 助産論Ⅱ など

4年生

看護研究への関心を深めていく1年。看護総合実習や卒業研究により、看護職に必要な理論・知識・技術を向上させます。また、新設科目「総合課題探求Ⅱ」では、1年生とのグループワークにより多様な考え方を持つメンバーと交流しながら、倫理的課題を解決するための探求能力を養います。

- 看護管理学
- 看護総合実習
- 卒業研究Ⅰ・Ⅱ
- セーフティマネジメント
- 総合課題探求Ⅱ
- 環境学
- 先端科学 など

卒業・看護職として社会へ



地域を知り、看護実践の現場を知る「三重を知ろうⅠ」

新カリキュラムにおける特徴的な科目の1つに「三重を知ろうⅠ」があります。1年生が履修するこの科目は、地域及び病院での実習や三重県知事の講話をとおり、地域で暮らす人々やその人々を支える看護実践の現場を知ること、看護学を学ぶ基盤を養うことを目的としています。

地域実習 5月31日(火)

津市一身田寺内町でフィールドワークを実施しました。このフィールドワークでは、地域の歴史や伝統を知り、そこに居住している人の生活に関心を持つこと、また、地域の方との触れ合いによって「生活者としての人」について理解を深めることを学習目標としています。

当日は、ボランティアガイドの方々にて寺内町をご案内いただき、古くからの町並みに触れながら歴史や伝統を学びました。また、高田会館では、寺内町や近隣地域でどのように暮らしてきたかをお話しいただいたり、学生の質問に答えていただいたりと、地域への理解を深める貴重な機会となりました。



一身田寺内町の見学

病院実習 6月13日(月)～21日(火) (うち2日間)

施設の見学や看護師のシャドーイング（影のように離れず付いてまわること）をとおして、療養現場や医療を支える多様な職種の実践について学びました。1年生にとっては、初めての病院実習でとても緊張していましたが、病棟指導者の方々に様々な看護の場面を見せていただき、学ぶことが多い実習になりました。

実習のまとめ 6月27日(月)

地域実習と病院実習での学びをもとに、「地域や保健医療システムにおいて求められている看護職像」についてグループで話し合いました。メンバーそれぞれが実習中に印象に残った場面などを共有し、自分たちの考えをまとめて発表しました。



三重県知事講話 7月13日(水)

「魅力あふれる三重の未来」をテーマに、一見勝之三重県知事にご講演いただきました。講演では、産業、観光資源などにおける三重県の強みや、新型コロナウイルス感染症や人口減少、医療提供体制などの課題に対し、三重県がどのような取り組みを行っているかをお話しいただきました。



一見知事の講演を聴いて 学生の感想

- 三重県の人口減少率を抑えるために、住みやすさを提供する新しい施策が実施されていることを知り、改めて県内で活躍する看護職者になりたいと思いました。
- 世界の問題、日本の問題、三重県の問題は繋がっているという話が印象的でした。少子高齢化や地球温暖化など様々な課題がある中で、私たちは視野を広げて、より多くのことを学んで行く必要があると思いました。

夢緑祭を3年ぶりに対面で実施しました

7月3日(日)、本学学園祭の「夢緑祭」を3年ぶりに対面で実施しました。コロナ禍において初めての対面開催のため、参加者を本学の学生と教職員に限定し、飲食を制限するなど、感染対策を行ったうえでの開催となりました。

参加者は、縁日風に改装した大講義室でヨーヨー釣り、射的、輪投げ、くじ引きをしたり、大学内に仕掛けられた謎を解いてクロスワードパズルを完成させる「脱出ゲーム」に挑戦したりして楽しみました。その後、参加者全員が講堂に集まってビンゴを行い、景品が当たるたびに大きな拍手が起こっていました。



夢緑祭実行委員長から 2年生 上谷 智輝さん

あいにくの天気の中、第24回夢緑祭に来てくださった教職員、学生の皆さま、本当にありがとうございました。コロナ禍で学内関係者のみでの対面開催という、前例のない状況の中で、企画を一から考えていかなければならず、成功するか不安でしたが、実行委員会でアイデアを出し合いながら、無事に開催することができました。

今年の夢緑祭をしっかりと振り返り、いいところを引き継いで、来年度の夢緑祭をより良いものにしていきたいと思います。

防災訓練を実施しました

7月11日(月)、南海トラフを震源とする大規模地震が発生した想定で、防災訓練を実施しました。

過去2年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、学生の避難訓練が実施できませんでしたので、久しぶりに教職員等に加え学生が参加した一斉訓練となりました。

緊急地震速報の試験放送が流れると、授業中の各教室では身の安全を確保した後、避難を指示する放送に従い、中庭に向けて避難しました。約300人の学生が一斉に行動するため、出口の混乱も想定されましたが、スムーズに避難が完了しました。

今後も大規模地震災害対策マニュアルの見直しなどを行い、非常時に適切な行動をとることができるよう取り組んでいきます。





地域に開かれた大学であるために

地域交流センターは、本学の地域貢献活動の中心機関として、本学の教育・研究の成果を地域社会に還元するとともに、地域社会の多様な主体との連携・協働や、地域の皆さまとの交流をとおして、地域づくりに貢献する取り組みを行っています。①教員からの提案による「みえ保健・看護力向上支援事業、県民のヘルスリテラシー向上支援事業」、②出前講座等の講師派遣事業、③看護研究支援事業、④公開講座、⑤卒業生支援事業、⑥看護職者のリカレント教育など、県民や看護職者の皆さまに向けた様々な事業を展開しています。

各事業の詳細は
大学ホームページで
ご案内しています



PICK
UP!

8月6日(土) 「卒業生のきずなプロジェクト」第1回茶話会



「卒業生のきずなプロジェクト」では、卒業生が看護職としての責務を継続して果たせるよう、様々な相談に答え、仕事の悩みを共有できる場を提供し、燃え尽きおよび離職の防止を図っています。8月6日(土)の第1回茶話会は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで開催しました。県内外で活躍している卒後1年目の卒業生6名が参加し、就職してからの喜びや苦悩の体験を共有するなど、とても充実した時間になりました。

PICK
UP!

6月18日(土) 第1回公開講座

白石 葉子 氏 (常葉大学健康科学部看護学科学科長兼教授)を講師に迎え、「体験!コグニサイズで認知症予防を」をテーマに公開講座を開催しました。コグニサイズとは、国立長寿医療研究センターが開発した、運動と認知機能を組み合わせた認知症予防を目的とする取り組みの総称です。

今回は、認知症に関する基礎的な内容から始まり、認知症の予防に役立つ運動としてコグニサイズの紹介、また、コグニサイズを安全に効果的に行うための知識について、本学教員による実演も交え、参加者の皆さまに体験して学んでいただく講座となりました。参加者からは、「頭と体を使ってよい運動になった」、「これからコグニサイズを続けて認知症を予防したい」などの感想をいただきました。

今回も、新型コロナウイルスの感染防止対策として参加人数を制限しましたが、93名の県民の皆さまにご参加いただきました。



第2回公開講座のお知らせ

日時 令和4年10月29日(土) 13:10~14:40
場所 三重県立看護大学 講堂(津市夢が丘1-1-1)
講師 村山 洋史 氏(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究副部長)
講演 「つながりと健康格差: コロナ禍であらためて考えるつながりの大切さ」
定員 先着100名(事前申込のみ)
申込 10月3日(月)~10月24日(月)
講座の詳細は、9月中旬に本学ホームページにてご案内予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

看護研究支援のお知らせ

本学では、看護の現場で看護研究に取り組んでいる方を対象に、看護研究支援のための研修を開催しています。研修は、研究の基礎から専門的な方法までを段階的に受講していただくことで、実践的な研究方法を習得できるような構成となっています。基礎的な研修「看護研究SEED」は、日常の看護から疑問を見出し、看護研究に取り組めるようなプログラムとなっています。専門的な研修「ハウツー看護研究」には、具体的な研究方法を学び、体験できる質的研究(インタビュー)コースと量的研究(アンケート)(実験・計測)コースを設けています。また、「看護研究エッセンス」では、統計解析について学びを深めていただけます。

本年度の看護研究SEEDの受付は終了していますが、ハウツー看護研究、看護研究エッセンスに興味のある方は、本学ホームページをご覧ください。

就職説明会・就活講座

7月13日(水)、2・3年生を対象に、就職説明会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの実施となりましたが、三重県内29の医療機関・施設の参加がありました。各医療機関の特色などについて、スライドや動画を活用して分かりやすく紹介していただき、学生からは「実際に各病院の説明を聞くことができた貴重な機会となった」といった声が聞かれました。

また、同日にはオンライン形式で3年生を対象とした就活講座も行いました。外部講師の方に、就職に関する情報収集の仕方や説明会でのマナーなど、これからの就職活動に役立つ情報についてお話しいただきました。

高校生のための看護職キャリアデザイン講座 「一日みかんだい生」

8月4日(木)、5日(金)の2日間、看護職をめざす高校生を対象に、キャリアデザイン講座「一日みかんだい生」を実施しました。看護職経験がある教員の講義や本学学生の体験談をとおして、看護職についての具体的なイメージを持ってから、本学の4年生を交えたワークショップで「自分たちが考える理想の看護職者像とは何か?」「自分が理想に近づくためには何をすればよいか?」を話し合ってもらいました。違う高校からの参加者同士で行うワークショップでしたが、積極的に意見を出し合うことができ、参加者からは、「看護職の仕事や自分の進路について深く考えることができた」という声をいただきました。



オープンキャンパス・オープンゼミ

8月20日(土)、「みかんだいオープンキャンパス2022」を3年ぶりに対面で開催しました。コロナ禍での開催のため、事前申込後抽選で選ばれた100名の高校生を対象に、大学紹介や入試説明のほか、キャンパスツアーや模擬講義などのプログラムを実施しました。本学学生との座談会では、高校生たちが進路をめぐる悩みなどを相談しました。学生との会話は、緊張気味の高校生の気持ちを優しくもみほぐしたようです。参加者からは、「三重県立看護大学に入学したいという思いが強くなった」「模擬講義を通して、大学での学びを想像できて良かった」などの感想をいただきました。

また、同日、大学院の進学希望者を対象としたオープンゼミをオンラインで開催しました。本学の教員から大学院の紹介や入試の説明を行ったほか、現在大学院で学んでいる学生から、大学院進学をめざしたきっかけ、現在取り組んでいる研究テーマ、大学院修了後の進路の展望などについて発表がありました。その後に行われた教員との個別面談では、参加者は大学院での学びについて熱心に質問し、アドバイスを受けていました。



令和5年度大学院入試について

三重県立看護大学大学院看護学研究科

本研究科は、学びの目的に応じ、修士論文コース、臨地教育者コース、専門看護師(CNS)コースを設置しています。看護学を探究したい方、看護職としてのキャリアアップをお考えの方は、進学についてご一考ください。

令和5年度入学生 二次募集日程

入試の種類：一般入試・機関長推薦入試・学内推薦入試

出願期間 令和4年10月10日(月)～令和4年10月21日(金)

試験日 令和4年11月26日(土)



独立行政法人国立病院機構 三重病院

「人にやさしい、
ぬくもりのある看護を
目指します」



三重病院は、「小さな子供から高齢者まで社会的弱者を支える総合成育医療機関」として、小児医療と重症心身障害児(者)・神経難病医療を担いつつ、24時間小児二次救急を行っています。また、感染重点医療機関であり、予防接種センターを持ち、アレルギーにも力を入れています。小児整形、肥満、糖尿病、耳鼻科では「きこえの外来」、小児心療などの拠点病院としての役割もあります。

看護部の理念は、「人にやさしい、ぬくもりのある看護を目指します」をかかげ、あたたかな看護を心がけています。例えば写真のように、小児の手術では、子どもの不安や恐怖を最小限にし、適した方法で心の準備やケアを行うプレパレーションを行い、少しでも児の対処能力を引き出せるよう関わっています。また、今年は、子供健康教室、糖尿病サマーキャンプ、健康フェスタ、ふれあいまつりなどのイベントを、感染に十分気を付けながら、再開する予定です。

教育では、看護職員能力開発プログラム ACTy ナース ver.2 を使用し、看護実践能力の向上とキャリア形成を支援しています。各認定看護師をはじめ、アレルギーエドゥケーター、糖尿病療養指導士、日本難病看護学会難病看護師、3学会合同呼吸療法認定士など資格取得への支援も積極的に行っています。三重県立看護大学とは実習の場として連携しつつ、今後も質の高い看護職者の教育と育成に取り組んでいきたいと思ひます。



病院情報

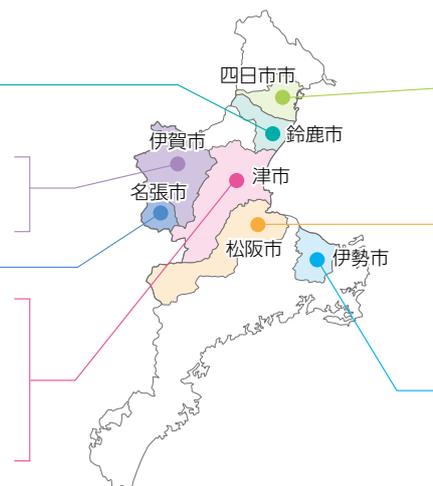
独立行政法人国立病院機構 三重病院 (昭和14年5月開設)

- 病床数：医療法承認病床数 260 床
(一般病床 208 床、感染症病床 2 床、重症心身障害者 50 床)
- 診療科目：内科(呼吸器、糖尿病、内分泌)、精神科(小児診療科)、脳神経内科、アレルギー科、小児科、整形外科、小児外科、皮膚科(入院患者対応)、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科・口腔外科、麻酔科、臨床検査科、薬剤科
- 職員数：職員数 364 人(うち看護師 201 人) 令和4年7月1日現在

連携協力協定機関一覧

県内12病院・2市

- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 社会医療法人畿内会 岡波総合病院
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 名張市
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構三重病院
- 三重県立一志病院
- 津市



- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院

さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生支援のための基金への寄付のお願い～

本学では、皆さまからのご寄付を原資とする「**公立大学法人三重県立看護大学修学支援基金**」を運用しています。

この基金は、「**みかんだい進学支援給付金**」の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があるにもかかわらず、経済的理由により本学への進学が困難な人への入学時の給付金として活用しています。また、新型コロナウイルス感染症に関する支援として、令和2年度には「**生活支援給付金**」、令和3年度には実習で必要なPCR検査費用の支援を行いました。

学生への継続的な支援を可能とするため、引き続き、皆さまからご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

■ 寄付にあたってのお得なお知らせ

本寄付金は、所得税の税額控除の対象です。
(対象：平成31年1月～令和5年12月寄付分)

■ 令和4年8月末の基金の状況

基金残高 **3,219,070円**
寄付者数 (のべ) 個人 **96名**
法人・組織 **16団体**

お問い合わせ 事務局財務・運営課
電話 059-233-5600

三重県立看護大学附属図書館の利用案内

本学附属図書館の蔵書数はおよそ8万冊、看護に関する蔵書数は県内一です。本学学生のほか、卒業生・修了生、医療関係者、地域の方にも利用いただけます。現在、学外の方は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、座席の利用をご遠慮いただいています。利用方法の詳細は、大学ホームページをご覧ください。

利用できる方

- 本学学生、卒業生・修了生、教職員
- 三重県内に居住または勤務する18歳以上の方
- 三重県内の大学・短期大学・専門学校に在学の方

開館時間

- 月曜日～金曜日 9:00～21:00
- 土曜日及び長期休業期間 9:00～17:00

休館日 日曜日、祝日、年末年始、館内整理日(毎月第1木曜日)、開学記念日(5月8日)、特別整理期間
※行事等のため開館時間を変更もしくは臨時休館することがあります。



編集後記

Vol.52となる今回は、本年度からスタートした看護学部の新カリキュラムについてご紹介しました。新設科目「三重を知ろうI」をはじめ、地域に根差した本学らしいカリキュラムではないかと思えます。また、夢緑祭やオープンキャンパスを3年ぶりに対面で実施するなど、コロナ禍の中で一歩前進した学内の様子をお届けしました。

4月には新学長が就任し、MCN REPORTも前号からデザインを一新しています。紙面から、新しい三重県立看護大学を感じていただければ幸いです。

(メディアコミュニケーションセンター委員会)



本学マスコットキャラクター
「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。

公立大学法人 三重県立看護大学

〒514-0116
三重県津市夢が丘1丁目1番地1
TEL 059-233-5600(代)
FAX 059-233-5666
<https://www.mcn.ac.jp/>



本学は、「大学基準協会」の定める大学基準及び「日本看護学教育評価機構」の看護学教育評価において「適合」の認定を受け、大学及び看護学教育の質について保証されています。